

「AFPY (Adventure Friendship Program in Yamaguchi)」

1 山口県の実践



山口県では、世界的な野外教育機関である OBS (Outward Bound School) の教育手法を導入し、平成5年から県内の小・中・高校生を対象とした青少年自然体験活動推進事業を実施してきました。この事業は現在も『心の冒険・サマースクール』として継続しており、これまで約2700人の子どもたちが参加し、「自己肯定感」「他者との信頼関係の構築」「自然や人に対する感謝の念の育成」等に学びを得てきました。

一方、アメリカでは、大自然の中を舞台とした OBS プログラムにより得られる教育効果を生かし、学校や地域等における冒険教育プログラムを提供する教育機関 PA (Project Adventure) が創設されました。

山口県においては、「心の冒険・サマースクール」の指導者が野外での冒険活動の経験を生かし、学校や地域でも使える PA の手法を取り入れ、山口県の子どもの生きる力を育むひとつの手立てとして AFPY を確立し、活動してきました。そして、現在、学校教育や社会教育のさまざまな場で、子どもたちの人間関係を育むために取り組まれています。

こうした「OBS 手法」「PA 手法」を取り入れ、学校教育・社会教育の両面における活動を展開していることが山口県の特徴でもあります。



2 「AFPY」の理論



AFPY の定義

AFPYとは、「他者とかかわり合う活動を通して、個人の成長を図り、豊かな人間関係を築くための考え方と行動の在り方を学び合う、山口県独自の体験学習法」としています。

ここでいう「他者とかかわり合う活動」とは、ゲーム的要素の強い人間関係を深める活動（アクティビティ）はもちろんのこと、各教科、道徳、特別活動、部活動等あらゆる活動を想定することができます。

AFPY のねらい

AFPYは、人間関係を深める活動（アクティビティ）等を生かして、のぞましい集団・学級・学校づくりに取り組む中で、一人ひとりの人間的な成長を促します。これは、様々な活動を通して、「個人の成長」を促し、「自己肯定感の向上」や「自信の回復」などをめざすと同時に、「集団の成長（集団づくり・仲間づくり）」を促し、集団におけるよりよい人間関係づくりをめざすものです。

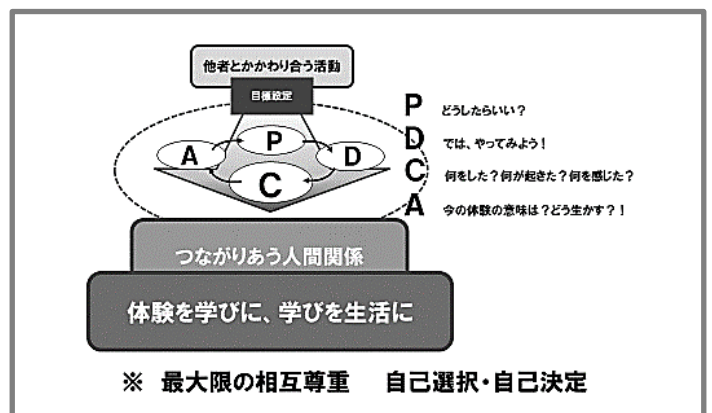
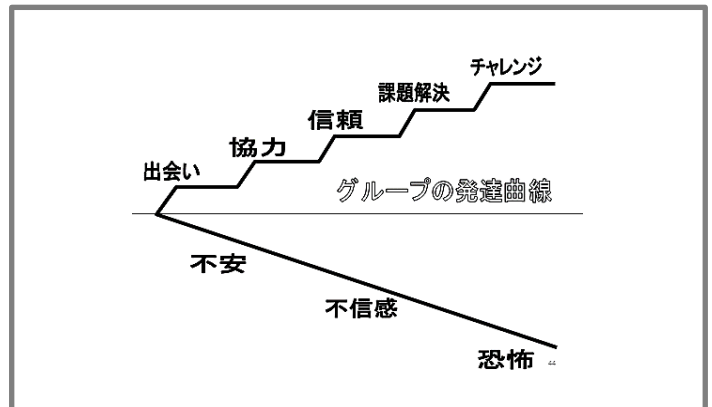
AFPY の基本的な流れ

AFPYでは、様々な活動の中でマネジメントサイクル（PDCA）を取り入れ、繰り返すことにより、豊かな人間関係を育みます。つまり体験（活動）のやりっ放しでなく、活動中の子どもたちの言動からグループで起こっている状況をつかみ、適切にフィードバックし、活動中や活動後のふりかえりに生かすことが大切になります。

指導者の役割

ファシリテーター（促進者 ⇒ 支援者・進行援助者）

指導者は、活動中でのファシリテーター（促進者）として、参加者自身による「目標設定」を促し、参加者自身による目標達成をめざして課題を解決する工夫を行うことができるように様々な支援を行います。そのプロセスの中で、様々な暗喩（メタファー）を仕組んだり、活動中における集団の課題の焦点化を行ったり、自己決定による課題解決への活動の展開などを図っていきます。



■ もっと学びたい人のために…

学びの場・人・書籍等、AFPYに関するお問い合わせは！
山口県教育庁社会教育・文化財課 青少年教育班 AFPY 担当
TEL：083-933-4650 / FAX：083-933-4669
<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50400/index/>

AFPY

検索